

提出日 2021 年 9 月 17 日

バーチャル留学成果報告書

【参加者A】

所属	経済	学部	経済経営	学科	3	年
プログラム名	バーチャル留学					
受講期間	西暦 2021 年 8 月 16 日 ~ 2021 年 9 月 10 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 受講した理由、目的・目標	来日するまで私は継続的に英語を勉強していました。しかし、来日し日本語を習い始めてからは英語を使う機会がなくなってしまう、英語を忘れる一方であることに気がつきました。英語を忘れないように復習をする必要性を感じ、このバーチャル留学プログラムに参加する事にしました。更に、就職活動のためにTOEICを受けることが必要ですので、今回英語を勉強しておくことで点数を上げられたらと思いました。日本語はもちろんのこと、英語も実力をつけることは将来様々なメリットがあると思いました。
2. 受講時の活動内容 (授業、プログラム内容など)	授業はSpeakingがメインで、Listening、Reading、Writingなどの一般英語を学びました。それだけではなく、2日に1回くらいの頻度で、Zoomを使ってバーチャルに色々な場所を訪問するイベントがありました。例えば、動物園の見学やシドニー訪問などです。更に、英語学習を通して、オーストラリアの文化や人などについて勉強する事ができました。先生は生徒が意見を交換しやすいように授業を進め、その他にもゲームを取り入れたりしました。先生は生徒が英語力を伸ばすためには、たくさん話す必要があると考えており、それができるように生徒1人1人に質問をして答えを聞いてゆく授業の進め方でした。
3. 受講の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	受講前に私は明確な目標を立てていなかったため、プログラム終了後に目標が達成されたかどうかを明確に判断することはできません。しかし、受講前の私は英語を話す自信がなかったのですが、受講後は英語を話す自信が相当付きました。やはり、たくさん話せば話すほど英語は上達します。そして新しく発見できた事は、色々な国の文化の違いです。このプログラムではオーストラリアの文化を沢山勉強することが出来ました。タイ、日本、オーストラリアの文化や現地の人々の考え方も違っている事がわかりました。まだまだ自分が知らない事がたくさんあり、自分の世界を広げなければならぬ事に気が付きました。今後は英語を使いながら様々なことを学習していこうと思います。
4. 受講経験を今後、どのように活かしますか	就職活動のためにTOEICを受ける予定で、今回英語を勉強した事を活かしたいと思います。将来は貿易会社に就職し、職場で英語を活かしたいと思います。更に自分の世界を広げるために、英語を使って色々な国の人と交流ができればと思っています。います。将来オーストラリアに行く予定があり、先生から教わったオーストラリアのスラングや文化などはその時に活かせると思いますので、今から楽しみにしています。
5. 自由記述	バーチャル留学プログラムに参加して凄く良かったと思います。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2021 年 9 月 3 日

バーチャル留学成果報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	国際観光ビジネス	学科	2	年
プログラム名	バーチャル留学					
受講期間	西暦 2021 年 8 月 16 日 ~ 2021 年 8 月 27 日 (約2週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 受講した理由、目的・目標	私の将来の夢は、海外で活躍する消防士になることです。そして日本に住んでいる外国の方々のためにも英語を身に付ける事は絶対に必要になると思います。私自身が外国の人達と話すことが好きなので、英語力を身に付けたいと思い今回応募しました。
2. 受講時の活動内容 (授業、プログラム内容など)	授業は基本的に2クラスに分けられ、先生が用意した課題についてお互いに英語で質問をしたり答えたりしました。またオーストラリア人がシドニーのビーチの案内をしてくれました。それ以外にも、オーストラリアの学生との交流では日本語で話をしたりしながら楽しい時間を過ごすことができました。
3. 受講の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	最初の1週間は周りの人達の英語力が私の英語力よりもはるかに高く、全くついてゆけずに自信をなくしてしまい、受講が終わるまでの間、少しでも他の生徒の人達に迷惑かけないように心掛けました。最終的に他の生徒達と同じレベルの英語力に達することはできなかったと思いますが、授業が進むにつれて先生の話や他の生徒達の話聞くことができるようになり、内容が理解できるようになりました。
4. 受講経験を今後、どのように活かしますか	今回オーストラリアのバーチャル留学を受講して、Zoomで紹介されたシドニーのビーチに実際に行ってみたいと思います。そして私は海外で活躍する消防士になれるよう、日頃から英語を忘れないように日々勉強していこうと思います。またもう少しTOEICで高い点数を取り、オーストラリアのバーチャル留学が無駄ではなかったことを証明するために頑張っていこうと思います。
5. 自由記述	今回このような機会を設けていただきありがとうございました。私にとって良い経験になりました。これからも頑張ろうと思います。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム
参加者へのアンケート内容（参加前/参加後共通）**

回答者は以下の各項目について、それぞれ 1～5 のいずれかを選び回答する。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる |
| 3. どちらでもない | |

1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。
- 受講するプログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

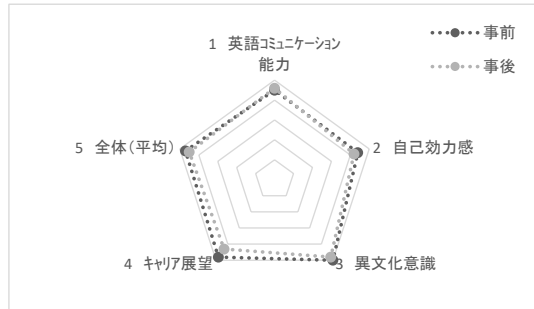
- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。
- 自分が就きたい仕事が決まっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

2021年度前期 パーチャル留学参加前後における意識調査 アンケート結果

ウーロンゴン大学(オーストラリア) 対象:2名 (A:2021/8/16-9/10実施 B:2021/8/16-8/27実施)

【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	4.5	4.6
2 自己効力感	4.4	4.2
3 異文化意識	5.0	4.8
4 キャリア展望	4.8	4.3
5 全体(平均)	4.7	4.5



【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.7	3.0
2 自己効力感	3.4	3.3
3 異文化意識	4.0	3.2
4 キャリア展望	4.5	4.0
5 全体(平均)	3.9	3.4

